



新年あけまして おめでとうございます



謹んで新春のお慶びを申し上げます。保護者・地域の皆様には、旧年中は本校教育の推進並びに、創立70周年記念事業に関わりまして多大なるご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

2024年(辰年)が皆様にとりまして、すばらしい一年となりますよう心よりご祈念申し上げます。

本年も子どもたちの健やかな成長のため、何卒お力添えいただきますようよろしくお願いいたします。

さて、2024年は辰年です。「辰」は十二支の中では唯一の架空の生き物、龍(竜)を意味します。水や海の神として祀られてきた龍(竜)は、躍動・飛翔を象徴するものであり、「龍が現れるとめでたいことが起こる」と伝えられてきました。今年の辰年には、「成功という芽が成長していき、姿を整えていく」といった縁起のよさが込められているといわれます。

また、「辰(龍・竜)」にまつわる熟語・ことわざには、次のようなものがあります。

登竜門 (とうりゅうもん)

「竜門」は、中国の黄河中流の急流、ここを登った鯉は竜に化するという言い伝えから、困難であるが、そこを突破すれば大いに活躍できる関門の意。鯉のぼりの由来にもなったと言われています。

辰巳下がり(たつみさがり) 言葉がおだやかで上品なこと、またそのさま。

竜の水を得る如し(りゅうのみずをえるごとし)

竜が水を得て昇天するように、時機を得て大いに活躍すること。「竜が雲を得る如し」、「竜に翼を得たる如し」。

一竜一猪(いちりゅういっちょ)

努力して学ぶ人と怠けて学ばない人の間に大きな差が出ることを表す四字熟語です。つまり、この言葉は努力するかしないかで、人間の賢明さや成功の度合いに大きな差が出ることを教えてくれる教訓となる言葉です。

子どもたちには、ぜひ今年も持てる力を存分に発揮して、龍(竜)の如く飛躍・飛翔してほしいと願っています。

「一年の計は元旦にあり」と言われます。年の始めにきちんとした計画を立て、それを実行することで、その一年が有意義な一年になるという格言です。この言葉は中国書籍の「月令広義」(げつれいこうぎ)からの引用とされ、四計のうちの一つです。

四計とは、「一日の計は晨(あした)にあり 一年の計は春(元旦)にあり 一生の計は勤にあり 一家の計は身にあり」とされ、充実した一日にするには朝が重要であり、充実した一年にするには春(元旦)が、充実した一生には勤勉が、充実した一家には健康な体が、それぞれ肝要であると説かれています。子どもたちには年の初めにあたり、節目・節目を大切に、しっかりと目標を持って、日々成長し、新しい時代を生き抜く力を培ってほしいと願っております。

今日から3学期が始まりました。今学期も下図の目標・子ども像をめざし邁進したいと考えます。6年生は49回登校、1~5年生は51回登校です。子どもたちには、毎日安全で健康な生活を送り、「時を守り 場を清め 礼を正す」力をつけ、次の学年・学校に繋いでほしいと願っております。保護者・地域の皆様におかれましては、3学期も子どもたちの健康や安全の見守りについて、お力添えいただきますようよろしくお願いいたします。

<p>長浜北小学校 学校教育目標</p> <p>夢に向かって命を輝かせる子の育成</p> <p>長浜北小学校 学校教育目標</p> <p>夢 つよい子 和 やさしい子 命 感じる子</p> <p> 知 徳 体 学力向上 生きる力を育む 仲間づくり 体力向上 </p> <p> ＊学力の向上、社会性の涵養、安全・健康の維持向上を通して、調和のとれた「人」づくり ＊夢と希望を育み 郷土を思う心を育て 地域社会に貢献したいと願う「人」づくり </p> <p>10年後、20年後の地域の未来を担う「人」を育てる</p>		<p>長浜北小学校のめざす子ども像</p> <p>○「夢」(つよい子):知(かしこく) 学力</p> <p>○「和」(やさしい子):徳(やさしく) 社会性</p> <p>○「命」(感じる子):体(たくましく) 健康安全</p>
---	--	---

このたびの令和6年能登半島地震で犠牲となられた方々に心よりお悔み申し上げますとともに、被災された皆様ならびにそのご家族に心よりお見舞い申し上げます。被害を受けられた皆様の安全、そして、一日も早い復旧復興と、被災者の皆様に平穏な日々が戻りますことをお祈り申し上げます。

1月の行事予定 と 3学期の主な行事予定

【1月の行事予定】

12月23日(土)～R6. 1月8日(月) 冬休み(冬季休業)
12月28日(木)～R6. 1月3日(水) 学校閉校日

1月 9日(火) 第3学期始業式 11:35下校予定
1月10日(水) 給食開始 4校時下校 13:45下校予定
1月11日(木) 全校5校時下校
1月15日(月) 委員会⑥
1月19日(金) 西中学校保護者説明会 14:00
1月23日(火) たてわり遊び(昼休み)
1月25日(木) 新入学児童保護者説明会 10:45
1月31日(水) 給食指導5い、5ろ

◆日暮れが早くなりました。子どもたちの安全確保について宜しくお願いします。

《令和6年2月以降の行事予定》

2月 1日(木) 全校朝会① 給食指導5は、5に
2月 5日(月) 委員会⑥
2月 6日(火)、13日(火) 5年生「夢の教室」
2月 8日(木) 特別支援学級発表会(学習参観)
2月21日(水) PTAリサイクル交換会①
学習参観② 1年生～5年生
6年生学習参観・親子活動③
2月28日(水) 6年生を送る会

3月 4日(月) 委員会⑥
3月 6日(水) 町別児童会⑤
3月18日(月) 校友会入会式
3月19日(火) 第70回卒業証書授与式
3月22日(金) 修了式 学年末休業(春休み～R6.4.7)
*子どもたちが健やかに成長できるよう見守りを宜しくお願いします。



子どもの人生の基礎をつくる小学校時代の子育て

子どもに「すこやかに育てほしい」と願うのは、時代を越えた親、地域の人々の願いです。新年によく耳にする「お年玉」の語源は、「御年魂(おんとしだましい)」とされ、その年 1 年間を健康で無事に生きられるように、新しい命として鏡餅や米(昭和30年代からはお金)を与え、子どもの健やかな成長を願った(一説)とされています。今も昔も子育ては、「家族、地域の未来づくり」として大切に営まれています。現在、「子育てに関する本」が数多く出版されています。

今回は、2冊の本を紹介させていただきます。前回の号で「家読」をお願いしたところですが、この本に限らず、お子様とご一緒に、年の初めの読書に親しんでいただければ幸甚に存じます。

・1冊目は『全米トップ校が親に教える57のこと『ダメ子育て』を科学が変える 星友啓(著)SB新書 2023.8.10』です。この本は、脳科学や心理学で明らかにされている子育てについて、参考にしたい57のポイントについて紹介されています。この本の中では、以下のような気をつけたい・知っておきたいことが57にわたり記されています。例えば、
① 「すぐに叱る」子育て法は子どもの理解にとって逆効果。感情が昂っているときにしつけを試みても、子どもの脳は、それをうまく呑み込むことができない。
② 子どもの「サーブ」(投げかけ)に大人が「リターン」(返答・呼応)することで、子どもの認知能力やコミュニケーション能力の自然な発達を促せる。
③ 子どものときに、しっかりとした信頼関係を持てる大人が一人でもいることで、逆境に耐えられるメンタルの強さを身につけられる。
④ 脳は間違えたときに最も効率的に学べるようにできている。子どもに「間違えたときこそ、脳が学ぶ最高のチャンスだ」とメッセージすることが大切。
⑤ 人間のやる気のベースは、「心の三大欲求」。人とのつながり(関係性)、自分が何かできるという感覚(有能感)、自分が決断したことを自分の意思にのっかってやっているという感覚(自律性)である。…です。
他にも、参考になることがいくつか書かれています。

・もう1冊は『子どもの脳の育て方 AI時代を生き抜く力 黒川伊保子(著)講談社+α新書 2023.12.12』です。人工知能研究者である著者が自分の子育ての経験を踏まえながら、これからの時代を生き抜くための子育てについての考えを平易な言葉で綴っています。本文の中には以下のようなことが書かれています。
① 子育ての金のルールは、「早寝、早起き、朝ご飯、適度な運動、そして読書」であることを、科学的な根拠に基づいて説明しています。
② 脳は眠っている間に進化する。知識は眠っている間に構築される。起きている間の学習や体験は、脳に「データとして記録されている」に過ぎず、自分のものになるのは睡眠を経てからである。よく眠る＝頭が良くなる&背も伸びる…という子育ての公式がある。
③ 勉強は、睡眠によって完成する。勉強を超える奥深い知性も、日常に役立つ生活の知恵も、睡眠中につくられる。
④ 身体も眠っている間に進化する。「骨が夜、寝ている間に伸びる」これは身長を急成長を遂げた人たちには、なじみの感覚である。
⑤ 脳の学習効果を上げる、コツは身体を動かすことである。散歩や、汗ばむ程度のそうじ、子どもたちの自由遊び、適度なスポーツである。足裏に圧がかかることが、記憶の定着にかかわっていることがわかっている。
⑥ 子どもたちの脳にとって読書は、日常体験とそう変わらずに、脳に知識化されていく『仮想体験』である。脳は、夜ごと、起きている間の体験や学びの記憶を知識構造に変えているのである。子どもは、読書で、「脳の体験」を増やしているのである。子どもたちの脳にしてみたら、あたかも自分が体験したかのように知識やセンスの源になっていくのである。
など、他にもたくさんの子育てにかかわるヒントが脳科学的な視点から、また、これからのAI時代に求められる力に関わって書かれています。参考になることが多いかも知れません。